

認知症サポーターキャラバン・メイト



神崎市で登録されているキャラバン・メイトは、55名(令和3年7月末現在)です。今回は、その中の一部のキャラバン・メイトから寄稿・コメントをいただきました。

神埼清明高校 生活福祉系列のキャラバン・メイト



私たちが認知症キャラバン・メイト研修を受講したきっかけは、福祉の先生に「今度、キャラバン・メイトの養成研修があるから参加してみない」と言われたことでした。福祉を学んでいる者として、認知症の事を深く知ることが、将来どこかの場面で必ず役に立つと思い参加しました。

研修では、当事者を交えたグループワークや認知症の方への対応方法など、普段学校では学べないことを指導していただきました。

その中で、何か私たちにできることはないのかを話し合い、神埼小学校でキッズサポーター養成講座を開催することになりました。

キッズサポーター養成講座では、「難しい漢字は読み仮名をつける」「聞き取りやすいスピードで話す」「大事なところはみんなで復唱する」といった事を工夫しました。

また、認知症の症状の特徴をイラストでまとめ、わかりやすく学べるようにしました。講座の前は緊張と不安で胸がいっぱいでしたが、小学生の皆さんは一生懸命話を聞いてくれて、質問もたくさんしてくれたので安心しました。

後日、「楽しかった」「認知症について分かった」との感想が届き、私たちは嬉しく思いました。私たちは、神崎市の皆さんがサポーターになり、認知症に対する正しい知識と理解を持ちながら、地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けをしていただければいいなと思い活動をしています。

佐賀県立神埼清明高校 生活福祉系列



西九州大学 健康福祉学科のキャラバン・メイト

西九州大学 健康福祉学科では、様々な地域連携活動に取り組んでいます。認知症キャラバン・メイトの活動もその一環で、学生や教員がキャラバン・メイトとして、また地域住民として、地域で認知症の方を支援していくための方法を考えています。

現在は、在学生への認知症サポーター養成講座を中心に、地域からの要望に応じ、地区の公民館や小学校等でも講座を行っています。講座では「認知症」について正しい知識を理解するだけでなく、それぞれが地域でどのように支えることができるのかを考えてもらうためにグループでの討論等を取り入れています。

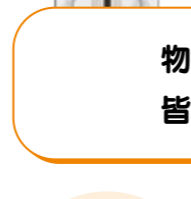
また、地域で行われている認知症カフェにも参加し、シナプソロジー等の頭の体操や家族の方々へハンドケアなどを通して、様々な関わりを行っています。

西九州大学 健康福祉学部 社会福祉学科

神崎市にお住まいのキャラバン・メイト



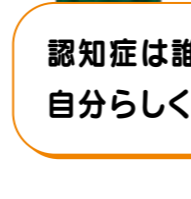
認知症について皆さんと一緒に学びましょう 《千代田町 実松さん》



物忘れ？認知症？色々な知識を簡単に、寸劇を通して皆さんで学びませんか？ 《千代田町 古川さん》



認知症と診断されても諦めないで笑顔でいられるようなかんざきを目指していきましょう 《神埼町 東郷さん》



認知症は誰もがなる可能性があります。だからこそ、認知症と診断されても、自分らしく生活できるように、皆さんの力を貸してください！ 《脊振町 堤さん》

